

## コロナ感染及び熱中症対策に伴う傘の有効活用について

保護者の皆様、日頃より児童の安心安全な教育活動推進についてご協力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、暑い夏を迎えるに当たり、コロナ対策と熱中症対策の両立を図るため、児童の登下校等において傘を効果的に活用すると以下の利点が考えられます。

### ※傘を差してコロナ対策と熱中症対策の両立を図る利点

- 1 日差しから身を守ることができる。
- 2 他の人と一定の距離を保っているため、通学班等においてもソーシャル・ディスタンスを保つことができる。
- 3 他の人と一定の距離を保っているため、マスクを着用しないで登下校が可能になり熱中症対策となる。
- 4 周囲から目立ち、安全に登下校できる。
- 5 特別な費用がかからないで対策が図れる。

そこで、各家庭におかれまして、引き続き手洗い、うがい、水分補給やクールスカーフの活用等の自分たちを守る指導とともに、以下の注意事項について必ずご指導ください。傘の有効活用をし、コロナ対策と熱中症対策の両立を図る活動にご協力をお願いします。

### ※傘を差してコロナ対策と熱中症対策の両立を図る時の注意事項

- 1 学校の活動ではマスクは必ず持参してください。**
- 2 登下校における手荷物等安全を考えて傘を活用してください。
- 3 傘を差さない場合はマスクの着用をお願いします。
- 4 傘を振り回して遊ぶなど危険な使い方をしないよう指導してください。